

現代は自動車社会だ。世界中の多くの大都市で、毎日交通渋滞が発生している。そんな状況の中で、「自家用車は一家に一台以下にするべきだ」という意見が述べられることがある。私はこの意見に賛成である。	確かに、現代生活に自動車は欠かせない。特に地方では、車以外に交通手段がないような地域が多く、一家に一台では生活どころか生命活動に支障をきたすことにもなりかねない。いざという時、病院に行く足の所有を禁じられていたために命を落とすなどということは、受け入れがたい。しかし、それにしても大都市には車が多すぎる。車の過密状態は交通渋滞だけでなく、交通事故の発生率も高める。それは、排気ガスによる空気汚染や地球温暖化といった、環境問題ともダイレクトにつながっている。車の絶対量が一定量を越えないような対策を取らなければ、これらの問題は一向に解決することがないだろう。	とは言え、大都市における車の絶対数を抑
---	--	---------------------

え	る	た	め	に	、	渋	滞	や	排	ガ	ス	汚	染	の	少	な	い	地	方
に	ま	で	同	じ	こ	と	を	要	求	は	で	き	な	い	。	よ	っ	て	、
「	一	家	に	一	台	」	は	都	市	民	の	社	会	モ	ラ	ル	と	し	て
理	念	的	な	目	標	と	す	る	に	と	ど	め	、	全	国	に	法	的	強
制	を	執	行	す	る	よ	う	な	無	茶	は	す	る	べ	き	で	は	な	い
代	わ	り	に	、	大	都	市	内	の	中	心	的	な	エ	リ	ア	で	高	め
の	通	行	税	を	と	り	、	車	の	使	用	を	抑	え	る	よ	う	に	し
た	ら	ど	う	だ	ら	う	。	交	通	手	段	は	他	に	も	あ	る	の	だ
か	ら	、	そ	れ	で	人	々	の	生	活	が	脅	か	さ	れ	る	と	い	う
こ	と	は	な	い	。	車	の	量	が	減	れ	ば	、	交	通	事	故	も	減
り	、	緊	急	車	両	が	足	止	め	を	食	う	よ	う	な	こ	と	も	な
く	な	る	。	も	ち	ろ	ん	、	環	境	に	と	つ	て	も	い	い	。	ま
た	、	大	都	市	で	通	行	税	を	取	る	代	わ	り	に	、	地	方	の
高	速	道	路	料	金	を	下	げ	れ	ば	、	地	方	の	活	性	化	に	も
つ	な	が	る	の	で	は	な	い	だ	ら	う	か	。						
以	上	の	理	由	で	、	「	自	家	用	車	は	一	家	に	一	台	」	
に	賛	成	は	す	る	が	、	そ	れ	は	大	都	市	民	の	社	会	モ	ラ
ル	と	す	る	に	と	ど	め	、	実	際	に	行	う	べ	き	施	策	と	し
て	は	、	大	都	市	内	で	の	自	動	車	の	通	行	に	対	し	て	課
税	す	る	こ	と	を	提	案	す	る	。									